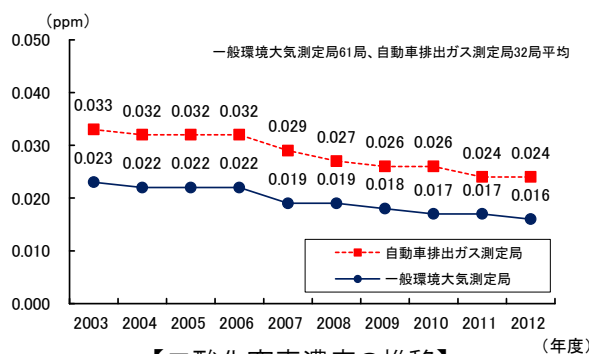


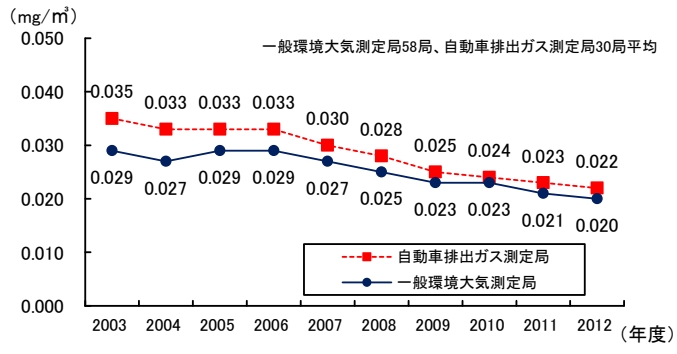
～府域の生活環境はおおむね安定的に推移しているが、大気における微小粒子状物質など、さらなる改善が必要な項目もある～

## 大気関係

○大気の状態については、2012年度は光化学オキシダント（全局非達成）、微小粒子状物質（PM2.5）（有効測定局33局のうち1局で達成）を除き、環境保全目標を全局で達成している。



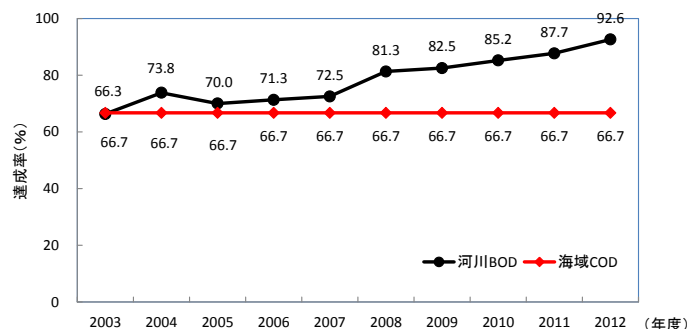
【二酸化素濃度の推移】



【浮遊粒子状物質濃度の推移】

## 水質関係

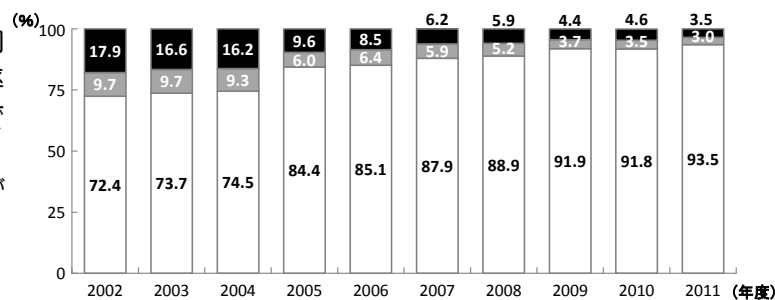
○河川の水質については、概ね改善傾向にあり、2012年度におけるBODの環境保全目標達成率は92.6%である。海域の水質については、横ばいの傾向にあり、2012年度におけるCODの環境保全目標達成率は66.7%\*である。  
\*兵庫県の測定地点を含め水域ごとに評価



【河川のBOD及び海域CODの環境保全目標達成率の推移】

## 騒音関係

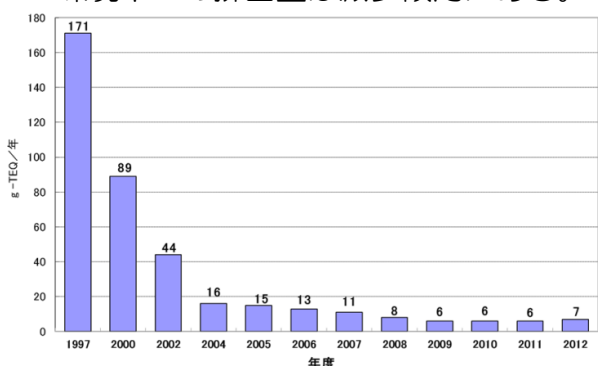
○道路沿道における騒音については、改善傾向にあり、2011年度の環境保全目標達成率（昼・夜間ともに基準値以下）は93.5%である。  
\*達成状況は、沿道に立地する住居等のうち、騒音レベルが基準値以下の住居等の割合を推計



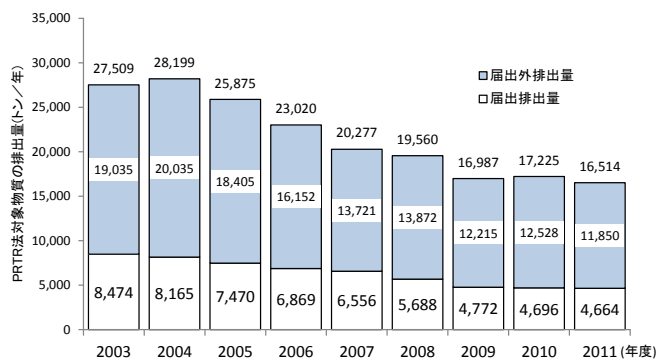
【道路に面する地域における環境騒音に係る環境保全目標達成率の推移】

## 化学物質関係

○ダイオキシン類や化学物質については、環境中への排出量は減少傾向にある。



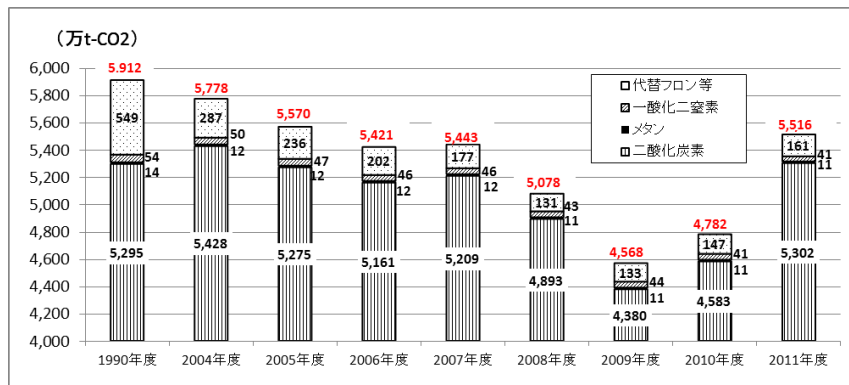
【ダイオキシン類排出量の推移】



【化学物質排出把握管理促進法対象物質の排出量の推移】  
\*環境省調べ  
\*2010年度より届出対象物質数が354から462に変更された

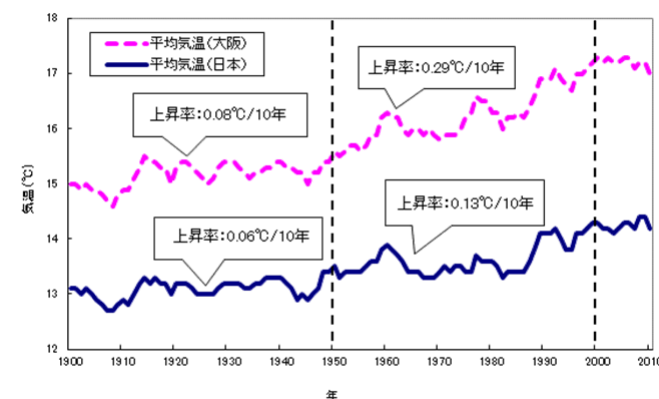
## 地球温暖化・ヒートアイランド関係

○温室効果ガスの排出量については、2011年度は、基準年度（1990年度）と比べ6.7%減少している。



【温室効果ガス排出量の推移】

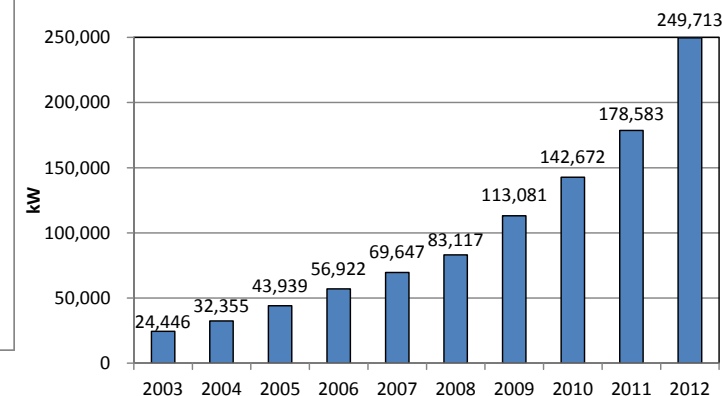
○年平均気温は、全国の年平均気温を上回る状況で推移している。大阪の熱帯夜数については、近年40日を越えているが、横ばい傾向にある。



【年平均気温の推移】

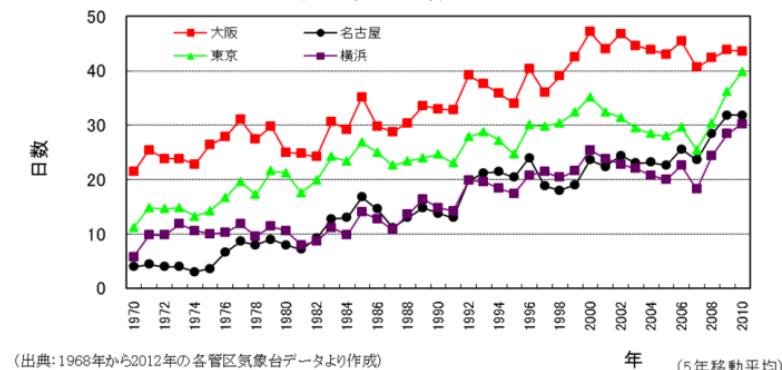
\*5年移動平均による数値

○太陽光発電設備の導入状況については、2012年度は249,713kWであり、2011年度の178,583kWと比較し、39.8%増加している。



【太陽光発電導入量の推移】

日本の主要都市における熱帯夜数の経年変化 (1970年～2010年)

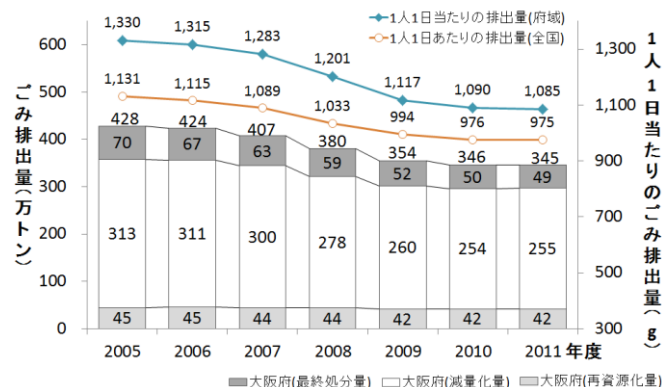


【熱帯夜数の推移】

\*熱帯夜：夜間の最低気温が25°C以上のこと  
\*5年移動平均による数値

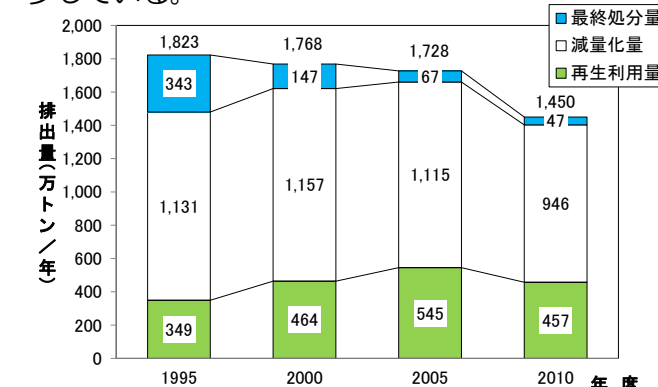
## 廃棄物の減量化・リサイクル関係

○一般廃棄物については、2011年度の1人1日あたりの排出量は全国平均を上回っているが、2005年度と比べ18%と全国を上回るペースで減少している。



【一般廃棄物の排出量等の推移】

○産業廃棄物については、2010年度の最終処分量は47万トンであり、2005年度と比べ30%減少している。



【産業廃棄物の最終処分量等の推移】